

山口県にある大学として、 地域課題を文理融合の視点から 学術的に解き明かす

山口大学

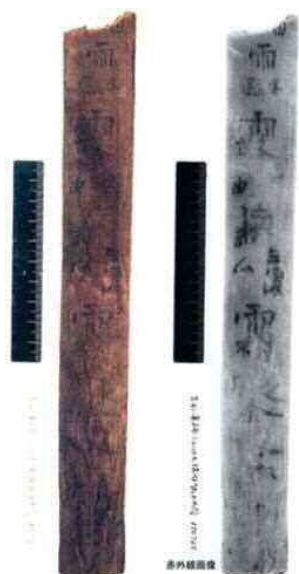
山口学 研究センター

山口大学吉田キャンパスは、「吉田遺跡」と呼称される周知の埋蔵文化財包蔵地内に立地しています。その吉田遺跡から、平成27年に国内5例目となる漢字に万葉仮名で読みを記した「音義木簡」が出土しました。現代においても山口県ではこのような新たな発見が日々あり、また新しい謎が生まれています。

山口学研究センターは、私たちの住む山口県の自然、歴史、産業、観光、流通、教育等に関する研究を推進するとともに、その成果を活用し、地方創生や地域社会の課題解決や活性化に寄与することを目的として、平成27年12月に設置しました。

当センターをはじめ、本学は山口県にある大学として、県をフィールドに、文理融合の視点から学術的に解き明かし、県の持つ魅力を多くの皆様に伝えていきたいと考えています。

山口学研究センター長 田中和広



Research Project

研究プロジェクト

山口県をフィールドとした自然・文化・歴史・産業・観光・流通・教育等に関する研究を推進するとともに、その成果を活用し、地域社会の活性化に寄与することを目的に、文理融合の視点を重視した研究プログラムを公募し、5つのプロジェクトを採択しました。地域・行政・大学が協働して、山口県の謎を解き明かす本プロジェクトを推進することで、地域の持つ魅力を再発見し、地域が抱える課題の解決等、地方創生や地域活性化の取り組みにつなげていきます。



山口から始める文化財修復と日本画の新潮流
堤宏守[医学系研究科・教授]他



古代テクノポリス山口-その解明と地域資産創出を目指して
田中晋作[人文学部・教授]他



撮影：株式会社バスマイ/国際航業株式会社

山口県防府地域の社会変遷と古気候に着目した土砂・水災害史の変遷
鈴木素之[理工学研究科・教授]他



グローバルな視点で考える山口県の歴史・文化・自然
教育学部[楮原京子・講師]他



山口県周遊観光の活性化のための観光客動態データ収集システムの開発と活用
野村淳一[経済学部・准教授]他

山口大学吉田キャンパス

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

JR湯田温泉駅から徒歩約25分
JR新山口駅バス停から山口大学前バス停まで約30分